

## 珐瑯部会のロードマップ

ミッション：環境に配慮し、珐瑯に関する学術の進歩、発展に寄与する。

		2022年	2030年	2040年	2050年
環境関連	CO2削減	省エネ（燃焼システム、ガラス組成）			
	環境リスク	環境汚染物質の低減			
	資源の有効活用	廃棄物（廃釉など）の再利用方法の確立			
		枯渇性資源、入手困難原料の対策			
技術強化	安定生産	各種鋼材への適応（ガラス組成、泡構造の最適化）			
	性能向上	欠点の克服（割れの軽減）			
	新規開拓	前処理方法、焼成方法、施釉方法の探索			